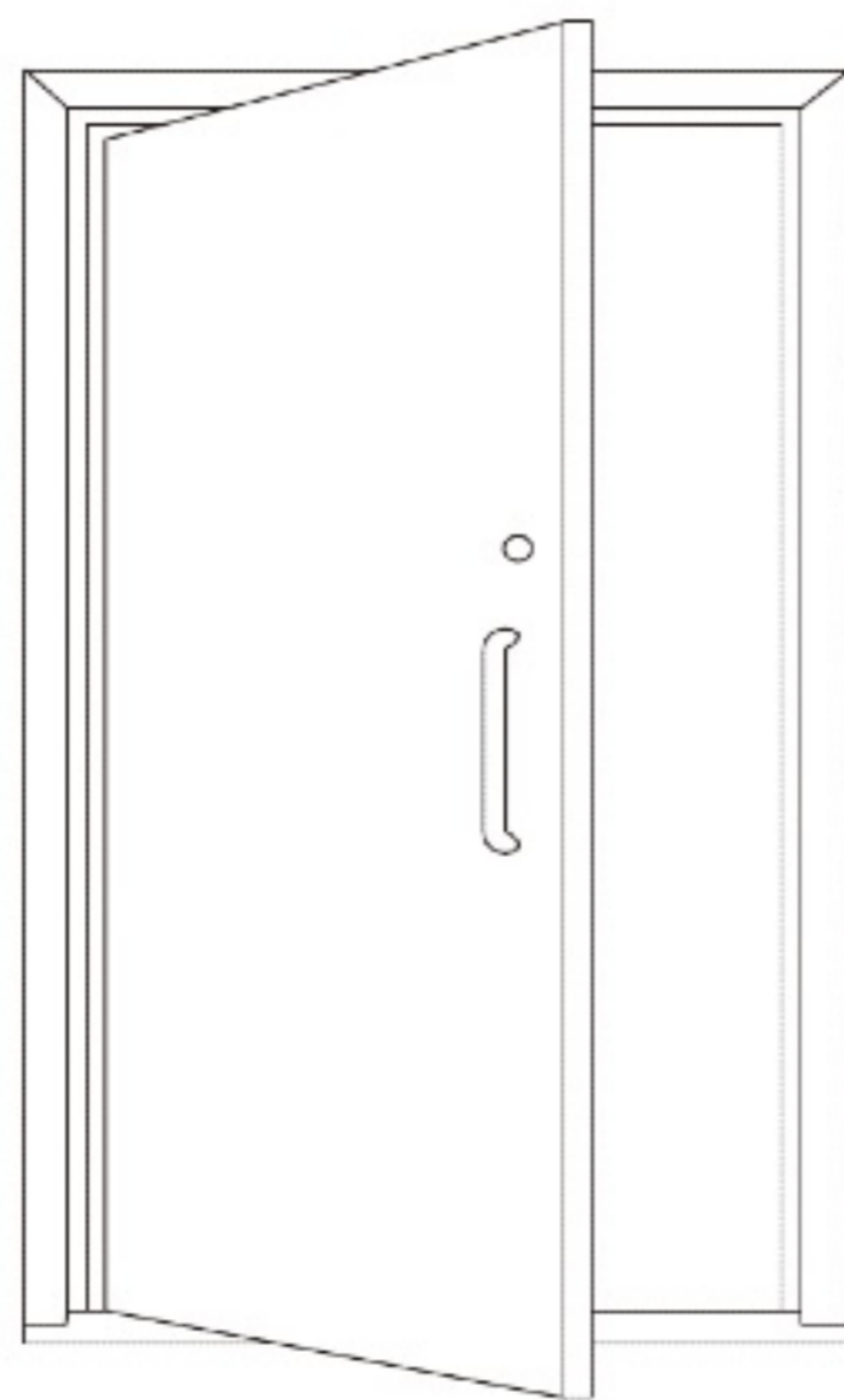


片開きドア ノックダウン仕様



注意事項

- ・開梱時に種類と数量を確認してください。
- ・商品に破損や異常がないか確認してください。
- ・万一商品に破損や異常がある場合、部品が不足している場合は、弊社営業担当者までご連絡ください。
- ・玄関ドア以外への転用および改造は行わないでください。
- ・ねじ止め箇所は、指定してあるねじを全て確実に止めてください。
- ・ドア本体は重いもので約 50kg あります。建て込みの際には三人以上で扱うなど、取り付けには十分ご注意ください。
- ・シーリング（コーキング）は、塗布箇所を十分に清掃し、指定箇所全てを確実に行ってください。
- ・組立・取り付け完了後、開閉作動や施錠が正常に行うことができること、および使用上の不具合がないか確認してください。
- ・施錠した状態で枠とドア間等に隙間が生じていないか、ご確認ください。
不具合がある場合は確実に建て付け調整をしてください。
- ・引渡し前に清掃を行い、商品にゴミや異物が付着していないことを確認してください。

塗装済みの場合

- ・タッチアップペイントが同梱されています。高温、多湿、直射日光を避けて保管してください。
- ・ご使用の直前に色の沈殿等がなくなるまでよく混ぜて、早めにご使用ください。（時間が経つと硬化します。）

梱包内容

標準セット	梱包内容	数量	備考	確認
ドア	ドア	1 枚	ボトムウェザーストリップ付	
ドア枠	ドア枠	3 本	樹脂製 2x4/2x6 又は木製（上枠 1 本 縦枠 2 本）	
	ウェザーストリップ	3 本	ドア枠、ボトムシルに使用	
	ブリックモールド	3 本	樹脂製 又は 木製（上用 1 本 縦用 2 本）	
	ボトムシル	1 本		
	平丁番（長ビス 2 本）	3 枚	ゴールド / シルバー / アンティークブラス / ブラック	
	アストラガル	-		
	フランス落とし	-		
	組立・躯体取付用ビス	24 本		
	タッチアップペイント	1 ボトル	塗装済みの場合のみ	

施工手順

①上枠と縦枠の取り付け（定寸カット・欠き込み加工済み）

三方枠を組み立てます。

- ・上枠と縦枠は片側 4 本のビス（65mm）で固定します。

【ポイント】・縦枠の上枠が取り付け部分（戸当り部分）

に一部欠き込みが施してあります。

- ・縦枠に 4 ヶ所の下穴が開いています。

- ・縦枠の上枠が取り付け部分にシリコンコーキングを打ちます。

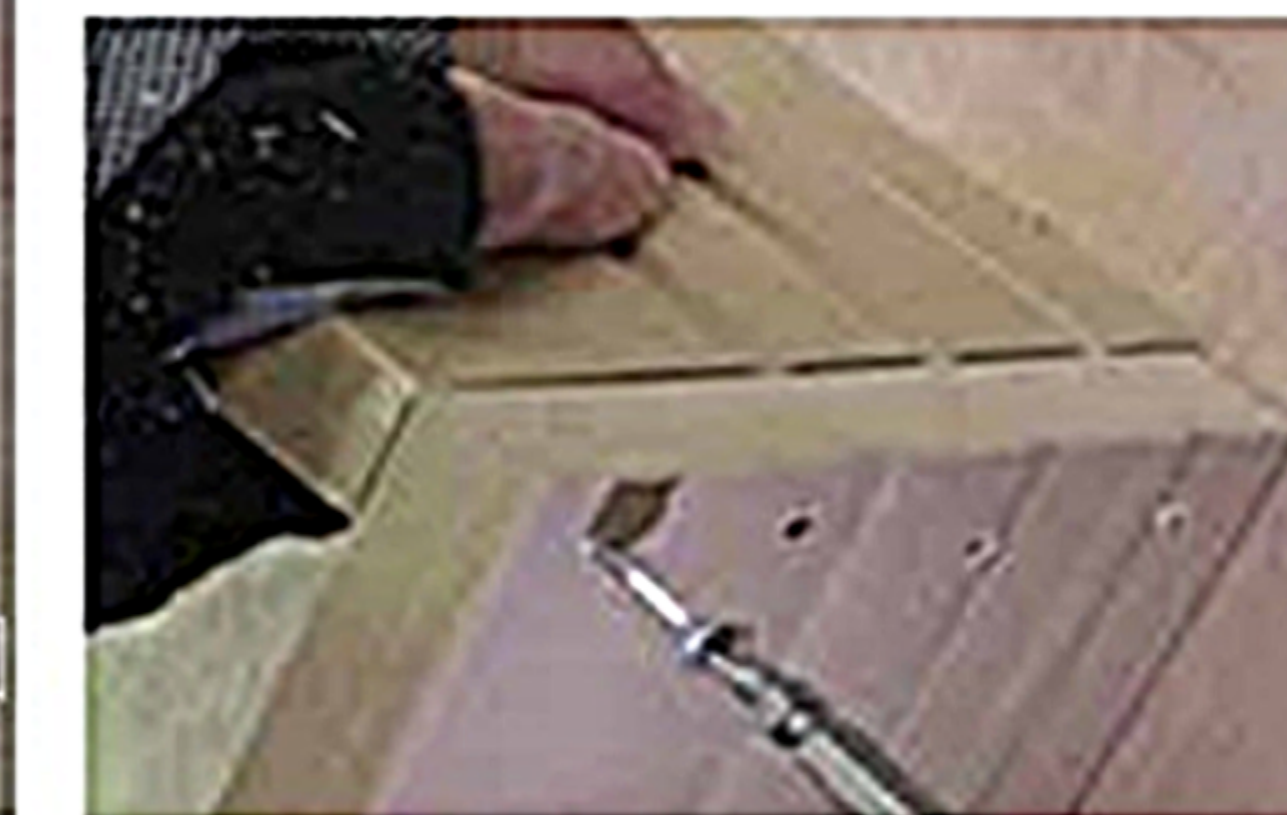
戸先側、吊元側共に同じ様にビス止めします。

【ポイント】・接着目的にシリコンコーキングを打ちますが、

塗装を考慮しシリコンコーキングがはみ出

ない様に注意してください。

戸当り部分が縦枠、上枠共段差ができないよう注意してください。



②ボトムシル（沓摺り）の下穴

②ボトムシル（沓摺り）の取り付け

【準備】雨水の侵入を防ぐためボトムシル（樹脂製）とアルミカバーの間にシリコンコーキングを打ちます。



- ・ボトムシルと縦枠は片側 3 本のビス（65mm）で固定します。（下穴有り）

- ・縦枠のボトムシルが取り付け部分にシリコンコーキングを打ちます。

戸先側、吊元側共に同じ様にビス止めします。

【ポイント】・縦枠に 3 ヶ所の下穴が開いています。

- ・接着目的にシリコンコーキングを打ちますが、塗装を考慮し

シリコンコーキングがはみ出ない様に注意してください。

※戸当り部分が縦枠、下枠共段差ができないよう注意してください。



③玄関ドアの準備

- ・丁番を付属のビスを使用しドアに固定します。（下穴有り）

開き方向を確認し丁番の向きを決めてください。

【ポイント】・丁番の上下を確認し取り付けてください。

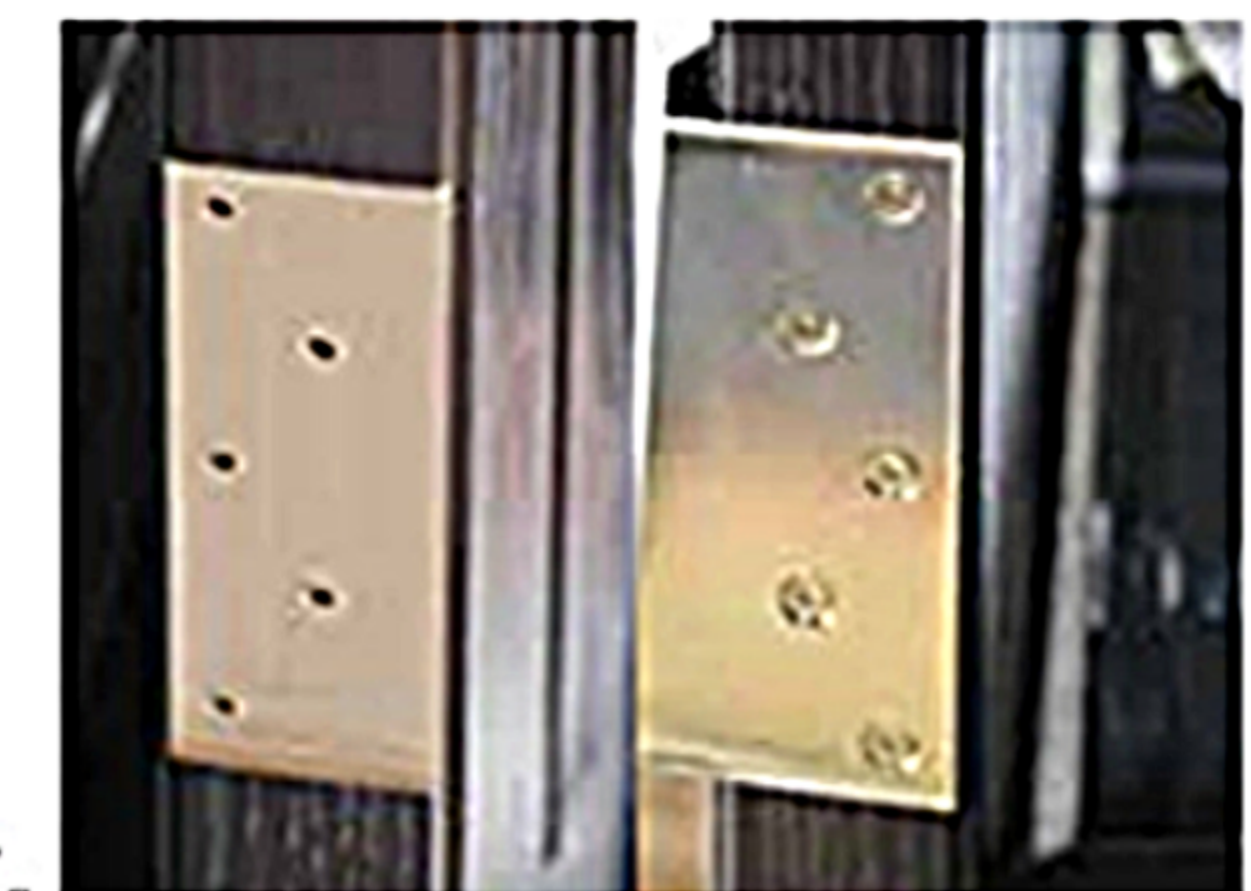
- ・取り付け位置（丁番の出入り）を必ず合わせてください。

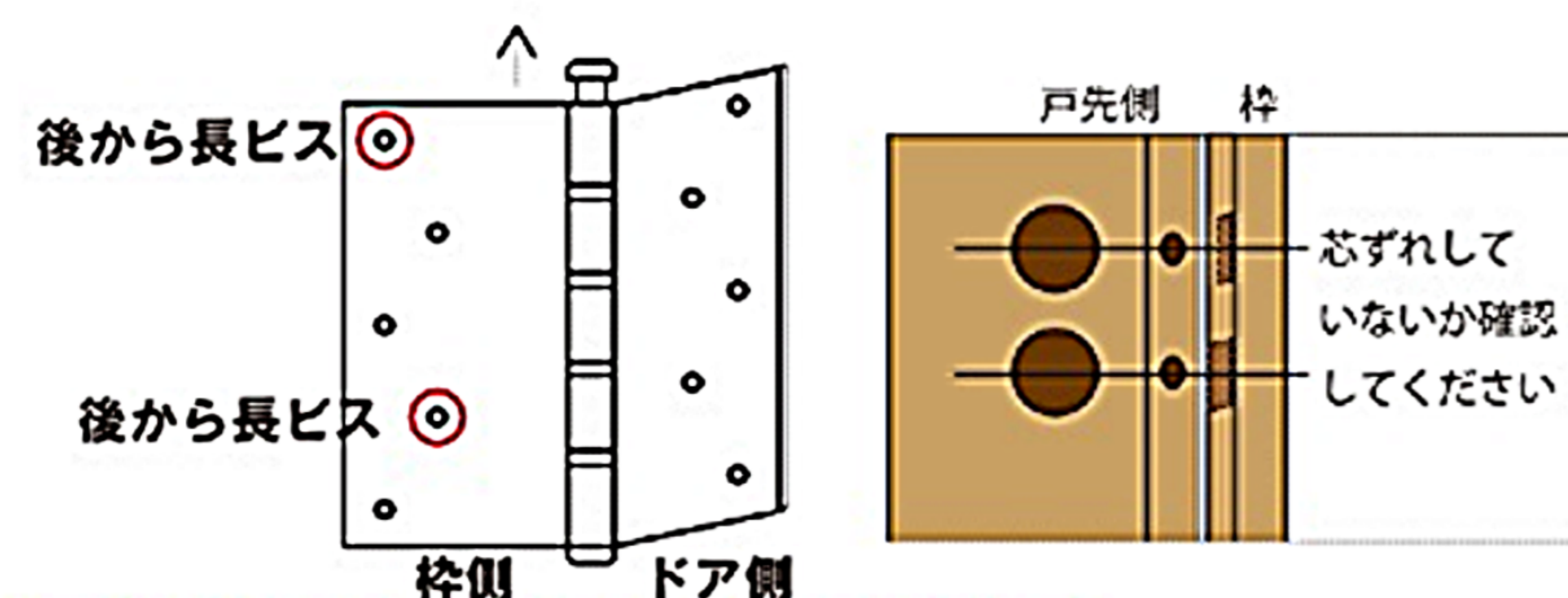
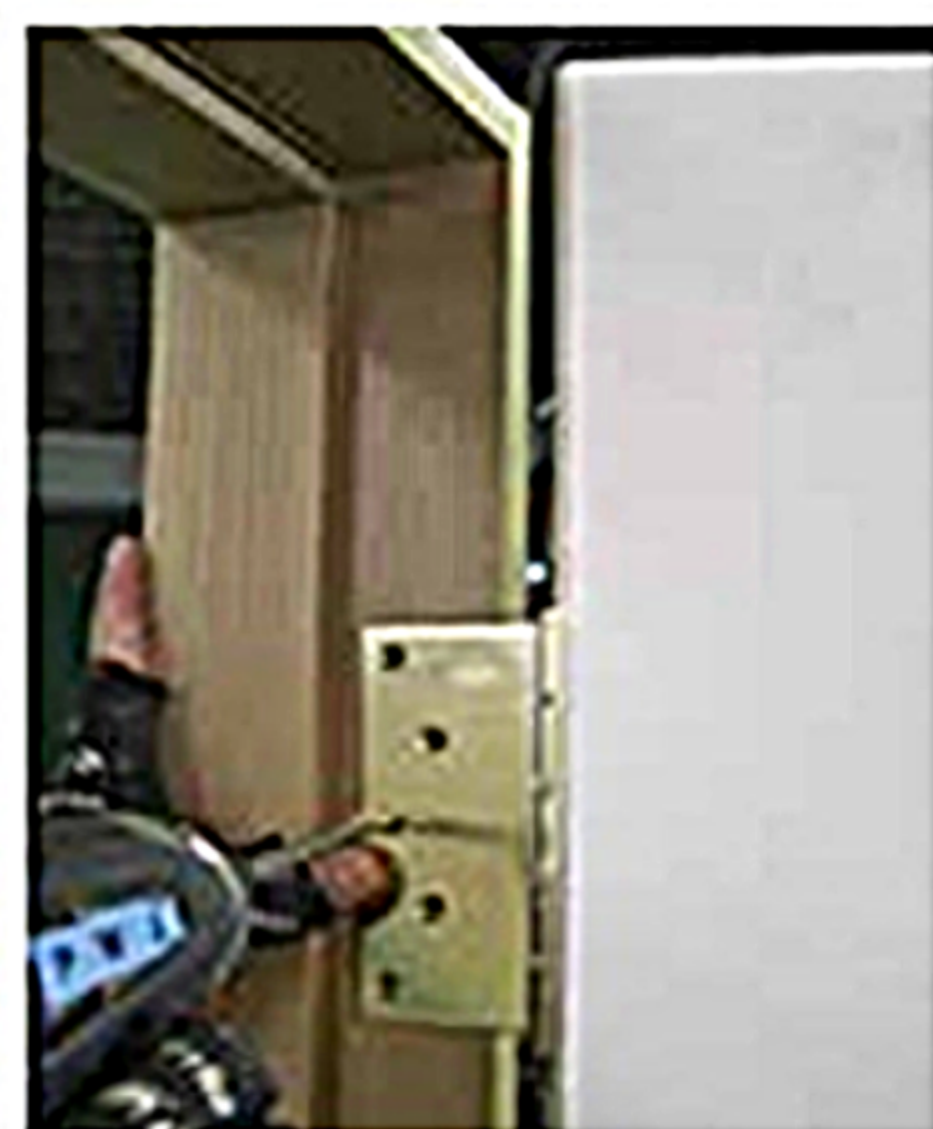
④ドアと枠の取り付け

- ・丁番の固定位置が縦枠に欠き込みされています。付属のビスを使って固定します。

【ポイント】各丁番 5 本ビスで固定しますが、上から 1 番目と 4 番目には長ビスを使用しますのであけておきます。

- ・ドア戸先のボア加工と枠のラッチ受け加工の芯がずれないようにしてください。





丁番の芯を抜いて、ドアと枠を外しておきます。
間のリングをなくさないようにご注意ください。

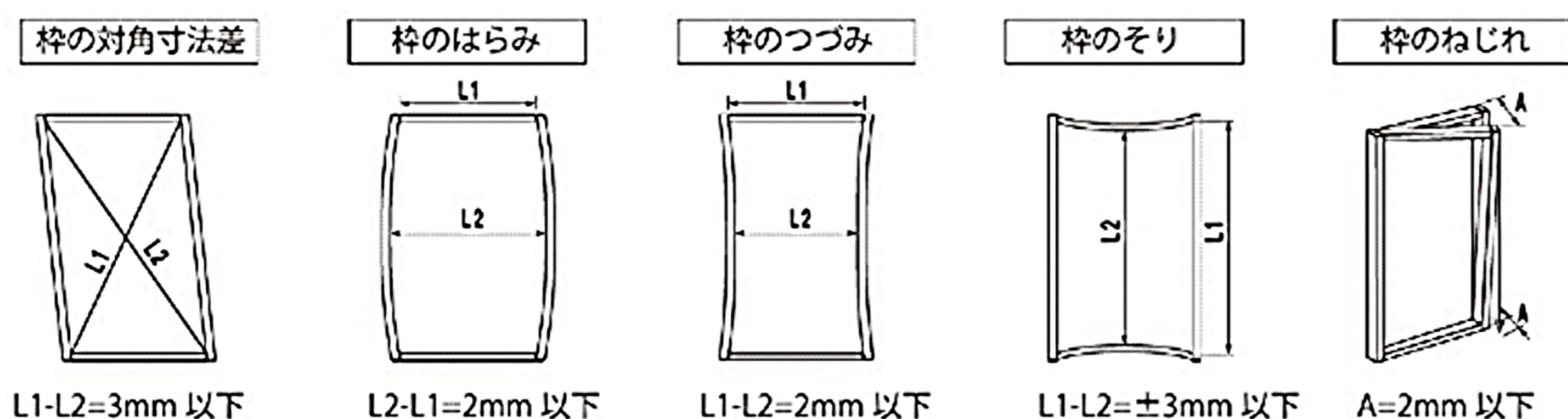
⑤ 枠を躯体に取り付け

- ・躯体と枠のクリアランスにスペーサーを入れます。
吊元側の丁番部等に7ヶ所程度（丁番の下とその中間、上下のコーナー部等）
戸先側に5ヶ所程度、枠外寸法に合わせてスペーサーを固定します。
- ・組み立てたドア枠を躯体開口部に入れます。
【ポイント】枠の室内側の面を石膏ボードの面と平らになるように、
室外側から当て木を当てて軽く叩いて調整します。
- ・吊元側のスペーサーの部分にビスを打ち固定します。
（目安：縦枠3～4本、上枠2本）
この時ビス頭が隠れるようにウェザーストリップで隠れる部分に打ちます。
- ・各丁番の上から1番目と4番目に付属の長ビスを打ち、躯体まで止めつけます。
【ポイント】ドアの重みによる枠の変形・ドアの下がり等の不具合が発生する恐れがありますので、
必ず長ビスを躯体に固定してください。
- ・吊元側の固定が終わったらボトムシル（沓摺り）が水平になるように調整します。
- ・戸先側を固定する前に枠内寸法を確認し、必要ならスペーサーを追加してビスで固定します。
【ポイント】枠内寸法は必ず上から下まで数ヶ所確認し、合わせてください。



ビスはこの部分に！

【枠の取り付けについて】枠を取り付ける際には、以下の寸法をお守りください。



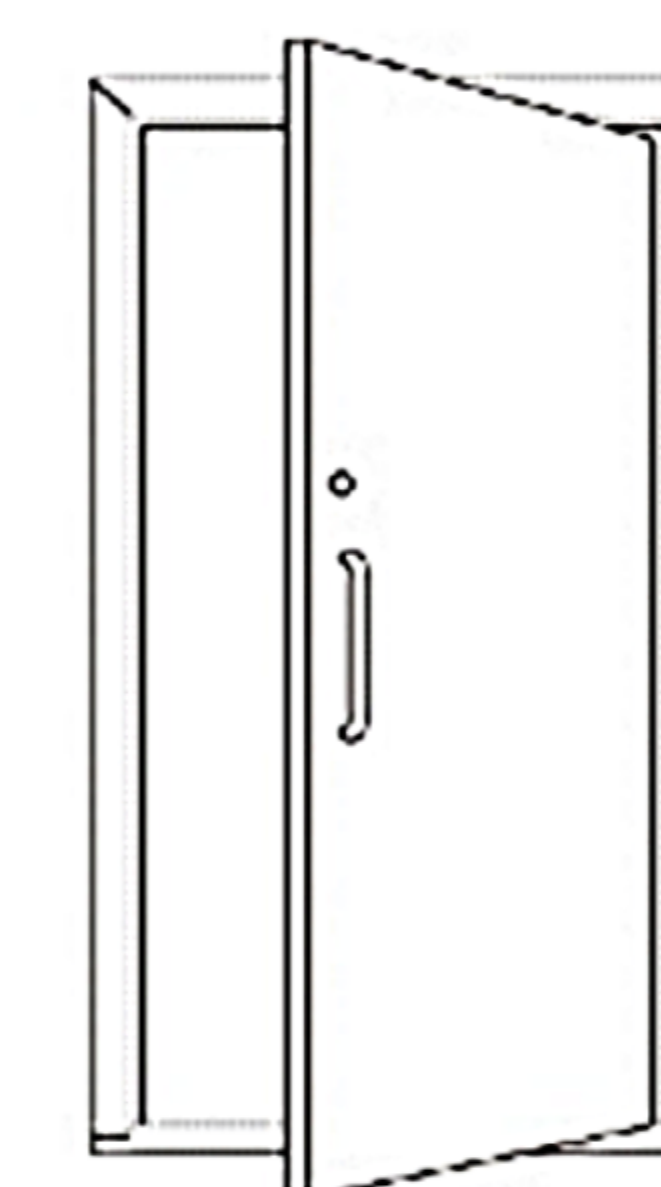
⑥ ウェザーストリップの取り付け

- ・ウェザーストリップが3本同梱されています（L=2075mm）。
- ・上枠・左右縦枠・下枠の順番で枠内の寸法に合わせてカットしてください。
- ・ウェザーストリップは四方に取り付けます。
【ポイント】上両隅は留加工で、縦枠の下端は少し長めにカットし、差し込む部分を少し切り取り隙間があかないようにウェザーストリップを取り付けてください。



⑦ ブリックモールドの取り付け

- ・各現場の指示に従いちり寸法を合わせブリックモールドを取り付けます。
上の両隅部は留加工（45度カット）で収めます。
 - ・縦枠上枠共、適正なちり寸法でカットしておきます。
【ポイント】ブリックモールドのコーナー部（留部）の段差発生を防ぐ意味で上部よりビスで固定してください。
ブリックモールドの傷や開閉時の摩擦音を防ぐ為、
丁番とブリックモールドは必ず隙間を空けてください。
 - ・ブリックモールドを枠側躯体側共に隙間やグラツキの無い様に固定します。
打ち込み跡が目立ちにくいよう、フィニッシュネイルの使用をお勧めします。
接着剤は現場の指示に従って使用してください。
- 最後に丁番の芯を戻して、ドアを取り付けます。



納まり図

ディステクション玄関ドア 納まり図
（片開き/両開き/親子）2×4工法



ディステクション玄関ドア 納まり図
（片開き/両開き/親子）2×6工法



木製玄関ドア/樹脂枠納まり図
（片開き/両開き/親子）2×4工法



木製玄関ドア/木製枠 納まり図
（片開き/両開き/親子）2×4工法

